



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。



1 みこしを担いで田原地区内を練り歩く 2 坂田知則田原区長による開始のあいさつ 3 津森神宮宮司による祈願 4 5 6 7 引き渡し場所
みこしの到着を祝う舞いや踊り 8 9 みこしに随行した行列。笛や太鼓の演奏で盛り上げました 10 田原地区の災害公営住宅も訪れました。新しく地区の一員となった人々も楽しげにみこしの行列を見学していました 11 ご神体が乗ったみこしを田原地区の御仮屋へ

12年に1度のお祭り騒ぎ

お法使祭りが平田地区から田原地区へ

10月30日、県重要無形民俗文化財「お法使祭り」が開催されました。

お法使祭りは、津森神宮の祭りとされています。しかし、ご神体が同宮に祭られず、町内の平田地区(2年)、田原地区、小谷地区、杉堂地区と西原村3地区および菊陽町4地区の12地区の御仮屋に、それぞれ1年間祭られます。御仮屋に1年間安置されたご神体は、みこしに移され次の地区へ引き渡されます。今年は、平田地区から田原地区へと引き渡されました。

引き渡し場所で神事や祝いの踊りなどが行われた後、御仮屋へご神体を移すため、若者たちがみこしを担ぎ、威勢よく地区内を練り歩きました。

みこしを担いでいる人もその周囲もみんな笑顔で、地区の住民が一体となった、まさに「お祭り騒ぎ」の1日でした。



役場職員から布田川断層帯の説明を受ける児童たち

地震の記憶を次世代に受け継いで

益城中央小児童が布田川断層帯を見学

10月21日、益城中央小の3年生が、谷川地区の布田川断層帯を見学しました。

同小では、熊本地震後から毎年、総合的学習の一環として、地震の記憶を風化させず次世代に継承していくため、町内の震災遺構などを巡っています。

この日見学した断層は、V字型に表れた「共役断層」という国内でも珍しい断層で、国の天然記念物に指定されています。現在は保護のためシートが掛けられていますが、それでも児童たちは興味深く見学していました。